

(別添4)

## 【臼杵市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量ネットワーク等の ICT 環境の活用により、個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実による、主体的・対話的で深い学びを実現し、臼杵市の教育方針である「臼杵市の未来をたくましく拓き、超スマート社会をしなやかに生き抜く、臼杵っこの育成」を目指す。

特に、「個別最適な学び」の実現に向け、AI デジタルドリルやオンライン授業の活用、「協働的な学び」の実現に向け、クラウドツール(Microsoft Teams)や共有ツール(ロイロノート・スクール)、電子黒板の活用を加速させる。

#### 2. GIGA 第1期の総括

GIGA 端末の整備と通信ネットワークの整備により ICT 活用推進体制が整った。教育委員会と公立学校教員代表者で組織する臼杵市 ICT プロジェクト会議も毎月実施し、ICT 活用に関する方針の決定や1人1台端末の利用に関するルールの策定、教職員研修の企画・運営など、本市の ICT 活用推進体制の充実に向け、適切な対応をとることができた。

ただ、全校生徒がネットワークを利用した際の通信の負荷や通信機器の不具合等も踏まえ、定期的なネットワーク環境のアセスメントの必要性を感じている。GIGA 端末トラブル時の代替機貸出も予備機が少なくなり課題となっている。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

##### (1) 1人1台端末の積極的活用

- ① 教職員研修(AI デジタルドリルや共有ツール(ロイロノート・スクール)の活用)の実施。(年2回)
- ② 十分な予備機及びネットワーク環境の整備。(予備機児童生徒数の4%以上、必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率100%)

##### (2) 個別最適・協働的な学びの充実

- ① 教育データに基づく児童生徒の実態把握、実態に応じた指導の個別化(学習が遅れがちな児童生徒に対するフォロー、発展的な学習の実施)にタブレット(例えば、デジタルドリル)を活用する。「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率」80%(R8)
- ② 授業支援ツール等を活用した他者参照による児童生徒同士での学び合い等、主体的な学びを推進する。「児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率」80%(R8)

(別添4)

(3) 学びの保障

オンライン授業のための環境整備「希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率」 100%(R8)

今後も、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持する。